

I 事業の概要

I-1 事業の概要

事務事業名	環境保全資金融資制度	所管局部課等	環境政策局環境企画部環境管理課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.jp/kankyo/envm/youshi/youshi.htm	(連絡先)	213-0930
		(評価票作成者)	環境管理課長 宇高史昭

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
8,800	62,940	現状のまま継続	63,809	指標: 新規融資件数
業務運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 部分委託 <input checked="" type="checkbox"/> 部分補助等 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 全部補助等	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 融資の斡旋業務(預託金方式)		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	京都市環境保全資金融資規則		事務事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 任意的事業
開始時期	昭和 43 年度	終了(予定)時期 平成 年度	類型	個人給付・融資
			会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計

事業概要	対象	(誰を, 何を) 京都市内に工場等を有し, 環境への負荷を低減させるための設備等を設置しようとする中小企業者
	活 動 容	(どのような手段で) 取扱金融機関に対し一定の割合の預託を行うとともに, 京都信用保証協会に対し, 同協会が代位弁済を行った場合に, 一部損失補填を行う。また, 利用申込に際し, 融資条件の審査を行う。 融資の種類: ①設備資金, ②移転資金, ③アスベスト対策資金, ④低公害自動車購入資金, ⑤フロンガス対策資金, ⑥太陽エネルギー利用設備資金, ⑦電気自動車購入資金, ⑧電気自動車充電設備の購入資金, ⑨屋上緑化措置資金等 (⑦, ⑧, ⑨は平成21年4月~)
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 中小企業者が本制度を活用して, 環境への負荷を低減させるための設備を設置すること等により, 本市の環境の保全に寄与する。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)		13,300	10,600	8,800	62,940
		中小企業金融対策預託金	13,200	10,600	8,800	62,000	62,935
		京都信用保証協会損失補填金・保証料補給金				860	854
		需用費(パンフレット印刷)	100			80	20
	①'	委託料					
	②	委託料が事業費に占める割合(①'÷①) (%)					
	③	人件費(24年度は見込) (千円)	5,338	5,245	1,559	1,445	1,955
		職員(課長級) (人)	0.08	0.08	0.02	0.01	0.01
		職員(課長補佐級, 係長級) (人)	0.25	0.25	0.05	0.05	0.10
		職員(係員) (人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費(①+③) (千円)	18,638	15,845	10,359	64,385	65,764
	⑤	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	13,200	10,600	8,800	62,000	62,933
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)					
		その他(預託金元利収入) (千円)	13,200	10,600	8,800	62,000	62,933
	⑥	京都市年間負担経費(④-⑤) (千円)	5,438	5,245	1,559	2,385	2,811
	⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

II 評価結果

事業名 環境保全資金融資制度

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	新規融資件数	目標値 …①	件	17	30	30	10	2
		実績値 …②	件	0	0	0		
		目標達成度 (②÷①)	%	0.0%	0.0%	0.0%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	かなり悪い	かなり悪い	かなり悪い		
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類		評価					
			総合評価					

指標の選択理由		目標値設定の考え方	
指標1	年度単位で新規に取り扱った融資件数	平成21年度から融資対象の拡充に伴い目標値を増やし、積極的に広報等も行ってきた。しかし、実績が伴わなかったことから、平成24年度は更に目標値を減少させた。	
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名	適用年度 単位
指標2			
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名	適用年度 単位
分析	<実績値の変動理由等> 融資に係る相談はあるが、条件に合わないことが多く、新規融資に至らない。		

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	融資相談対応件数	件	20	31	12
	②	年間経費(事業費及び人件費の合計額)	千円	18,638	15,845	10,359
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	931,891	511,125	863,242
	④	単位当たり経費変動率			-45.2%	+68.9%
			評価	かなり良くなった	かなり悪くなった	
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の活動実績が減少したため効率性が悪くなった。					

C 市民参加度	企画段階 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<現状分析, 今後の方針等> 本融資制度は、中小企業者を対象とした制度である。
	実施段階 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	評価段階 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
D 市民満足度	<調査の有無> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 該当しない	<調査結果, 現状分析等>
	<調査方法> <調査時期>	
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般	<現状分析, 今後の方針等> 制度の運用により、環境の保全等に係る施設等が整備される。平成21年度からは融資対象を拡充し、より一層環境保全及び環境負荷軽減に寄与した取組を進めている。

平成23年度の実施状況	これまでと同様に制度の利用数は0件となっている。
-------------	--------------------------

市会・監査・外部機関等からの指摘	平成22年度第2回事務事業評価委員会：制度の利用数が0である。このような状況が続けば、制度の廃止も含めた見直しが必要である。
------------------	----------------------------------------------------------------

III 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容) 現在の景気動向を踏まえると、設備修繕資金よりも、運転資金への需要が大きいと思われる。制度の利用者数を増やすための有効な手立てはない。しかしながら、事業活動に伴う環境負荷を減らすための方策としての価値は大きい。また、「はばたけ未来へ！京7ラン」の実施計画に掲げているよう、今後、事業手法の見直し等を検討していく。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------